



2024年 JAF全日本カート選手権 FS-125JAF部門 FP-3部門
2024年JAFジュニアカート選手権 ジュニア部門 ジュニアカデット部門
第5戦・第6戦 IN NAKAYAMA

2024/9/21
大会事務局

ドライバーズ ブリーフィング資料

1・競技全般(1)

No.1

(1)エントラントの代理人指名について

レース期間中、エントラントが欠席の場合は、エントラントが委任状で正式に代理人を指名し、代理人が当日委任状を持参して下さい。

(2)ドライバーズブリーフィングについて

2023年全日本/ジュニアカート選手権 統一規則 第23条に則り、
ドライバーズブリーフィングを実施します。

必ず、出場選手はブリーフィング資料の確認をお願いいたします。

参加確認及び、ブリーフィング資料の受取については、大会公式受付を以て兼ねさせていただきます。

ブリーフィング開催時間帯に於いては、エンジンの始動及び、発電機等のご利用を停止してください。

質疑応答はブリーフィング後に、コース上にて競技長が受け付けます。

資料を元にブリーフィングを行いますが、事前に不明点等ある場合は事務局までお申し出ください。

(3)パドック内の火気取扱い、作業エリアについて

ピット及びパドックにて火気を取扱う作業を行う場合、指定された作業エリアにて行うものとする。

また、パドック内での喫煙は指定場所以外では禁止します（電子タバコも同様）。

(4)クレデンシャルの着用について

統一規則 第7条に則り、関係者はクレデンシャルの着用をお願いします。

ドライバーは、大会受付、エンジン配布、回収、タイヤ配布、回収、車検、

ブリーフィング時には必ずクレデンシャルを着用してください。

また、ピットロード・車検場には、クレデンシャルの着用がないと立入出来ません。

ピットロードへの立ち入りは、当該クラスのピットクルー及びエントラントのみとさせていただきます。

(5)タイムスケジュールの厳守について

大会スケジュールにおける遅延ペナルティは、

全日本カート選手権統一規則6章第39条及びジュニアカート選手権統一規則第6章第38条に準じます。

大会受付、タイヤ配布、車検、ブリーフィング等、大会スケジュールには、十分に時間の把握をし、

ご協力をお願いいたします。尚、遅延賠償事務手数料(FS-125.FP-3クラス)は、3000円といたします。

FP-Jr及びFP-JrCadetsはタイムトライアルに1秒加算となります。

天候急変等による、タイムスケジュールの変更は公式通知にて掲示しますので、

必ず確認をして頂くように、ご配慮をお願いいたします。

(6)封印について

タイヤ、エンジン、フレームに施された封印(マーキング)が外れそう(消えそう)な状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出ること。

エンジンの場合は、ワイヤーと封印金具を2つ合わせて封印されている状態と見なしますが、

FS125部門のエンジンには、OKクラスと同様にシールを使用した封印を使用します。

その他、FP3、ジュニア、ジュニアカデットの各クラスは従来通り、ワイヤーを使用した封印とします。

※シリンダーヘッド及びシリンダーヘッドナット1本にそれぞれ、封印のための穴をそれぞれ1つ施すこと。

2・競技全般(2)

No.2

- (1)スタートライン(SL)は、コントロールライン(CL)の先、1コーナー側のラインとする。
- (2)フィニッシュライン(FL)は、コントロールタワー前のラインとする。
- (3)ピットロードでは、十分に速度を落として走行する。走行速度が速いドライバーにはペナルティを課す事がある。
- (4)空気抵抗を避けるため、頭を下げる走行は重大な危険行為となるので。必ず視野を確保して走行すること。
- (5)走行中(ローリング中を含む)の無理な追抜き・幅寄せ・ブッシング・非スポーツマン行為を禁止します、
オフィシャルが危険行為と見なした場合にはペナルティの対象となる。
- (6)黄旗提示区間での「徐行」、「追い越し禁止」を遵守すること。
- (7)競技を中断する場合、全ての監視ポストより赤旗を提示し、レースを中断する。
ドライバーは、オフィシャルの指示に従い、コース上に停止する。
その際行える作業は、競技長の指示に従う。
- (8)走行中に天候が急変した場合、もしくは急変が見込まれる場合、赤旗により競技を中断する場合もある。
- (9)チェックカーフラッグを受けたカートに対して、黄旗静止を提示する。
フラッグに従い減速を行うこと。
- (10)走行中に消音器が脱落した場合、速やかに安全な場所に停止すること。
そのまま走行し続けた場合は黒旗を提示しレース除外になる。
- (11)セル始動車両のウォームアップは、カートが完全に地面に接し走行できる状態でのみ認める。
なお、主催者指定のウォームアップエリアでは、スタンド上での始動を認める。
※ウォームアップエリアは公式通知を確認してください。
- (12)コースインは十分に速度を落として左端を走行し、コースイン直後にレコードラインを走行しない。
- (13)ニュートラリゼーションは規則に従い、追い越しは禁止され、追い越した場合は
ペナルティが課せられる。
- (14)事務所より最終コーナー側ピットロードは、レース中(公式練習、TT 含む)立入禁止です。
ピット作業及びピットサインは、事務所より1コーナー側で行ってください。
- (15)コントロールタワーの反対側でも補助として、各フラッグを提示します。
- (16)レーススタートは、信号を主で行いますが補助で日章旗の提示も行います。

3・タイムトライアル

(全日本)

ドライバーはタイムトライアルとして設定された時間内であれば任意に出走し、

時間内であれば、途中で停止した場合も再トライアルすることが出来る。

但しピットに戻った場合は、再トライすることは出来ない。

(ジュニア)

ドライバーはタイムトライアルとして設定された時間内であれば任意に出走することができる。

但し、コースイン後、途中で停止した場合、又は車検場に戻った場合は再トライすることは出来ない。

4・スタート進行

No.3

(1)十分な時間の余裕をみて、集合してください。

(2)スタートが合図される前に、1周のウォーミングアップランを行う。

その後1~2周のフォーメーションラップを行う。

ドライバーは2列の隊列でスタートラインに向かい、25m手前に引かれたイエローラインを超える

までは加速してはならない。スタートはシグナル(灯火信号)と補助で日章旗を併用します。

(3)フロントローに並んだドライバーは後続のドライバーが追い付けないようなスピードで、

フォーメーションラップを行わないこと。

※フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した場合、当該ヒートの結果に10秒加算となる。

特に3コーナーを通過してからは、隊列を整える配慮をすること。また最終コーナー立ち上がりから、

イエローラインまでの加速はしてはならない。

フォーメーションが整いイエローライン前に加速していないと判断した場合、赤信号を消灯して(日章旗を提示)、

スタートの合図を行う。フォーメーションとイエローライン前での加速や隊列に問題がある場合、

フォーメーションラップがさらに1周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける(消灯しない)

(4)フォーメーションラップ中の追い越し、隊列復帰禁止区間は6コーナー手前に置かれた赤パイロンから
イエローラインまでとする。

※フォーメーションラップ中の指定区間での追い越し及び割り込み違反者は当該ヒート失格となる。

(5)フォーメーションラップ中、先頭車両が3コーナー通過時までにエンジンのかからない車両はピットに戻します。

フォーメーションラップ中に隊列が6コーナーまで来た場合は、ピットマーシャルがピットアウトを制止する。

その時スタート合図がなされた場合は、ピットスタートはできない。

(6)フォーメーションラップ中に大きく遅れたと判断されドライバーには、白地に赤バッテンの表示が出され、
提示されたドライバー又は、フォーメーションラップ中にピットインしたドライバーは最後尾につかなければならぬ

(7)フォーメーションラップ中のタイヤヒーティングは禁止される。(蛇行の禁止)

(8)各部門のスタート進行について、統一規則に基づく。

競技開始1分前に補助を行うピット要員の退去はピットエリアへ退避すること。

5・レース中の留意事項(1)

(1)黄旗提示区間の徐行、追い越し禁止を厳守すること。

(2)コース上に停止し、コース委員の指示に従わなかった場合、

また後続車両通過前に再スタートした場合は、1周減算とする。

(3)コース上に停止し、コース委員の指示に従わなかった場合、

又は後続車両通過前に再スタートした場合は、当該ヒート失格となる。<ジュニア>

(4)青、赤旗の採用

ジュニアの予選・決勝ヒートにおいて、周回遅れおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対して
青、赤旗(二重対角線で区分された旗)が示される。青、赤旗は競技長の指示によりコントロールライン上で
振られ、示されたドライバーはピットインし、レースを止めなければならない。

ピットインしない場合は失格(黒旗)の対象となる。

(5)復帰するための最小限の方向転換は認める。

(6)ジュニアの公式練習・TT・予選・決勝ヒートにおいて、スピン等で停止やコースアウトした場合、

他を妨害することなく、後続車両通過後、またはコース委員の指示後にレース復帰すること。

なお、レースに復帰する際、カートから降車して、自力でカートを押してエンジンを始動することは認められない。

(7)オレンジボール旗は、レースの最終周では、提示しない。

5・レース中の留意事項(2)

No.4

- (8)国内カート競技規則に定める必備の部品の脱落の場合、当該ヒート失格とする。
- (9)レース中の音量違反者には、黒旗で対処する。
- (10)捨てバイザー(シールド)を本コースに捨てる 것을 禁止する。
- (11)タイヤの加工は一切禁止する。
- (12)日本選手権統一規則に基づき、ドライバーの合図は必ず行うこと。
合図(手の上げ方)は必ず頭上高く上げることを義務付ける。
オフィシャルが合図不履行(頭上高く上げていない場合も含む)と判断した場合には、ペナルティの対象となる。
- (13)黒旗の提示は、コントロールライン上とする。
- (14)競技を中断する必要があると見做された場合、すべてポストで赤旗を提示する。
- (15)赤旗が提示された場合は、直ちにレースを中止し徐行すること。
全ての車両はコントロールラインを先頭にし、左右に分かれて安全に停止してください。
- (16)競技を中断するに至らないとみなされた場合、ニュートラリゼーションが実施され、
すべての監視ポストで振動黄色旗および、「SLOW」ボードを提示する。
- (17)チェックカーフラッグを受けたカートに対しては、黄旗を提示する。
ドライバーは、黄旗に従い指定場所に移動すること。ドライバーのミスによるチェックカーフラッグの見落とし
(W チェッカー)の見落としが無いように、コース上にオフィシャルが立ち入っている場合もある
ので見落とすことのないように十分に注意すること。
- (18)イエローラインの次の白線をフィニッシュラインとする。イエローラインより2本目の白線をスタートラインとする。
- (19)ローリングが始まってから、レースがスタートするまでの間、メカニックはピットロード及び、
コース側に出てはならない。
- (20)チェックカーフラッグが振られたら、メカニックはコース側及びピットから離れたパドックに戻らなければならない。
また、チェックカーフラッグが振られた後に車検場に入ったカートの整備をしてはならない。
- (21)ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならず、かつ必ずピットストップし、
エンジンを停止しなければならない。これに違反した場合は当該ヒート失格となる。
- (22)出走前には、選手自身全ての封印のチェックを行うこと。
- (23)レース中、リタイヤされた方も、必ず車検を受ける義務がありますので受ける事。
- (24)レース中、ドライバーがパドックに戻らないこと。(工具等を取りに行くなど)
- (25)レース中ピットクルーのピットロードへの立ち入りは、クレデンシャルを必要とし、
ピット作業時またはピットサイン提示時以外はピットロードのピット側で待機とする。
ガードレール沿いでの待機は禁止とする。
- (26)ピットロードへの立ち入りは、当該クラスのピットクルー及びエントラントのみとする。
- (27)ドライバーパスでは、ピットロードの立ち入りを禁止する。ピットロードでの観戦は認めない。

6・ドライバーに対する留意事項

(1)フォーメーションラップ中、隊列のペースを乱さないように円滑なローリングを行うこと。

(2)リタイヤの場合、エントラント、ドライバー署名の上、リタイヤ届を書面にて提出すること。

(3)予選・決勝とも加算ポイントシステムを採用する。

予選グリッドはタイムトライアル順とし、予選ヒートのポイントの多い順に決勝のグリッドを決定する。

なお、ポイントペナルティがあった場合は下位の順位のポイントまで減算される。

(4) 1セットの登録タイヤは「技術委員長の承認のもとに、各1本のみの交換」が認められているが、
交換を認める場合の基準は、バースト、パンクおよび嵌合部からの空気漏れ等がある場合のみとし、
トレッド肉厚は交換する前のタイヤと同等以下であることが条件となる。

(5)ピットエリアおよびパドック内での火気および高熱を発するもの(溶接機、サンダー等)は
指定された作業エリアで使用すること。

(6)走行中(公式練習、タイムトライアル、予選ヒート、決勝ヒート)の吸排気消音器の脱落は、次の通り行う。

1)脱落して即座に安全な場所に移動して停止した場合および徐行にてピット(車検場)に移動した場合は、
当該ヒート失格とする(公式練習除く)

2)脱落して走行し続けた場合は、レース失格とする。

(7)ピット入口から事務所の間は、減速用のシケインを設置しているので、人員安全の為に
競技中は使用禁止と共にその際の人の立ち入りも禁止する。

7・服装に関する注意

(1)ヘルメットの顎紐の締め忘れが無いか必ず確認する。

(2)レーシングスーツ前側上部のファスナーの閉じ忘れとマジックテープの閉じ忘れ。

(3)レインコンディション時、カッパを使用する場合、フードが巻き込まれる恐れがあるので
フードを取り外すか、スーツ側に入れ込んで下さい。危険だと判断した場合、
オレンジボール旗を提示する場合があります。

8・点火装置に関する事項

(1)技術委員長は、各車両に対し、点火装置の作動確認用測定器の装着を指示する場合がある。

当該指示のあった場合は測定器の装着指示に従わねばならず、本件に関する抗議は認められない。

(2)技術委員長は競技会審査委員会の指示に基づき、エントラントに対し当該車両の点火装置を
技術委員長の指定する同一型式の他のものに交換させる場合がある。

当該指示のあった場合は、交換作業に従わなければならず、本件に関する抗議は認められない。

9・フロントフェアリングに関する事項

1)2022-2024 及びCIK-FIA 公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。

2)フロントフェアリングが正しい装着状態でなかったとしても、オレンジボール旗は提示されない。

ただし、安全上問題がある場合は、その限りではない。

3)公式練習及びタイムトライアルを除き、チェック後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが
正しい装着状態でなかった場合、当該ヒートの結果に5秒加算のペナルティが課される。

※統一規則書参照。(No.2.2.1)

10・喫煙・暖気について

- (1)125cc水冷エンジンの暖気は指定エリアのみ認める。
- (2)空冷エンジンは始動確認のみで暖気は認めない。
- (3)パドック内はすべて禁煙とする。喫煙は指定された喫煙場所にて行うこと。電子タバコも喫煙とみなす。

11・車両の回収

- (1)停止した車両の回収は、停止したドライバーの登録ピットクルーの方で行うこと。
- (2)放送およびオフィシャルの合図又は指示の後、速やかに車両の回収をお願いします。
次のクラスの進行の遅れの原因となりますので、速やかに回収をお願いいたします。

12・その他

- (1)電光掲示板の表示及び、レースアナウンスはサービスの一環として表示しているものであり、暫定又は、正式発表との食い違いがあっても、全て事務局より発表される結果が優先される。
また、周回数は電光掲示板に表示される。表示は走行周回数にて表示される。残り周回数ではありません。
- (2)レース進行の基準となる時間は、公式時計に従う。公式時計はコントロールタワーに設置する。
- (3)スタート前の集合はタイムスケジュールでの時刻で進行を行います。
スタート時刻は各自で認識の上、集合してください。
また、スムーズなレース進行を心がけるためにもオンタイムでのスケジュール協力をお願いします。
- (4)再記載しますが、天候の急変や日没時刻によって安全性を考慮し周回数の減数や時間短縮を行う場合もあります。
- (5)大会開催期間中、パドックの内外問わず、暴力行為、暴言(チーム内を含む)、やレースの遅延行為は行わない様にして下さい。

先頭車両が3コーナー通過時に
エンジンが掛からない車両は
ピットに戻します。

